

石川近代文学館 出張ミニ展示

西村賢太没後4年／『日乗』シリーズ最新文庫出版記念



2026/1/29(木)

▶2/11(水祝)

9時～21時
(土日祝は18時まで)
2月2日、9日は休館

会場：石川県立図書館
1階 屋内広場

「藤沢清造没後七〇年記念展」テープカットで挨拶する西村賢太 石川近代文学館正面玄関にて(2002.4.25)

主催：公益財団法人石川近代文学館 共催：石川県立図書館

清造の墓前に、ぬかずきたし。

(「遙道の章」平成二十七年四月二十七日(月)の日記より)

『一私小説書きの日乗 野性の章 遙道の章 不屈の章』

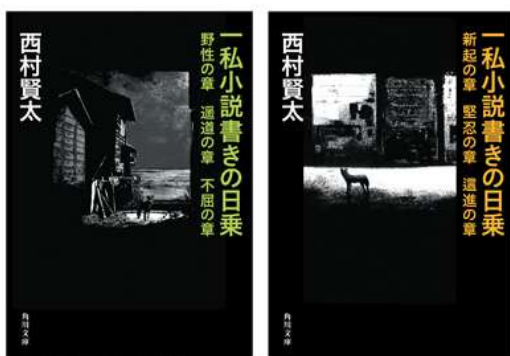
平成25(2013)年5月～平成28(2016)年6月分収録

『一私小説書きの日乗 新起の章 堅忍の章 這進の章』

平成28(2016)年6月～令和4(2022)年1月分収録

株式会社KADOKAWA／2026年1月23日発売 西村賢太の日記文学が合本で待望の文庫化

本展で雑誌発表時の書入原稿(校正刷)を展示予定



書影提供：株式会社KADOKAWA

2026/ 1/29 (木)
▶ 2/11 (水祝)
9時～21時
(土日祝は18時まで)
2月2日、9日は休館

石川近代文学館
出張ミニ展示

西村賢太没後4年／『日乗』シリーズ最新文庫出版記念

芥川賞作家・ 西村賢太と石川

令和4年2月5日の急逝後、多くの遺品が石川近代文学館に寄贈された芥川賞作家・西村賢太。熱狂的なファンが多くいる一方、ゆかりの地となった石川県ではまだまだ読む人が少ないようです。今回、「西村賢太と石川県のつながり」をテーマに出張ミニ展示を開催します。「師」と仰いだ七尾市出身の藤澤清造に向けた敬愛、文学への情熱、細やかな心情など、無頼派のイメージに留まらない西村賢太の様々な一面に、展示を通じ触れていただければと思います。

関連
イベント

トーク&朗読の会

今回出版される「一私小説書きの日乗」シリーズ文庫版の版元であるKADOKAWAより、西村賢太の担当として執筆を支えた編集者お二人をお迎えし、お話を伺います。

①出版記念トーク「日乗の西村賢太」

出演：山田剛史氏(KADOKAWA 文芸局 角川文庫編集部)
似田貝大介氏(KADOKAWA 文芸局 単行本編集部)

②西村賢太作品朗読 小説「昼寝る」(抄)

日記文学「一私小説書きの日乗」(抄)

出演：井口時次郎氏(劇団ドリームチョップ)
西本浩明氏(演芸列車「東西本線」)

日時：2月7日(土) 14:00～15:30

会場：石川県立図書館 2階 研修室

定員：先着30名 参加費：無料

申込：お電話(076-262-5464)にて1月7日より受付開始
(平日9時～17時のみ対応)



藤澤清造・西村賢太墓 七尾市西光寺
(2025.8.8)

西村 賢太 略歴

にしむら・けんた 昭和42年～令和4年(1967～2022)

小説家。東京都生まれ。中学校を卒業後、港湾荷役など日雇い労働で生活の続けながら田中英光ら私小説家に傾倒。藤澤清造に感銘を受け、以後彼の「歿後弟子」を名乗る。平成15年頃から自らも私小説を書き始め、平成16年、同人誌「煉瓦」に発表した「けがれなき酒のへど」が「文藝界」に転載され注目を浴びる。平成23年、「苦役列車」で第144回芥川賞受賞。個人編集による藤澤清造全集刊行をライフワークと定めるも、令和4年2月5日、道半ばにして急逝。七尾市西光寺にある藤澤清造墓の隣に生前自ら建てた墓に眠る。

石川県立図書館

Ishikawa Prefectural Library



百万石
ビブリア
baum

〒920-0942 金沢市小立野2丁目43番1号
Tel 076-223-9565・Fax 076-223-9566
E-mail: library@pref.ishikawa.lg.jp

【駐車場】400台／入庫後30分無料、以降30分ごとに100円。図書館利用者は駐車料割引機での手続きにより3時間無料。

※周辺道路は混雑が予想されます。ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。



主催・
お問合せ

公益財団法人
石川近代文学館

〒920-0962 石川県金沢市広坂2-2-5 石川四高記念文化交流館内
☎076-262-5464 昌076-261-1609
<https://www.pref.ishikawa.jp/shiko-kinbun/>

